

これまでのまちづくりの進め方

第1次里海創生基本計画期間

○新しい里海のまちとして、「豊かな自然環境の保全と再生」・「持続的・安定的な農林水産業の実現」・「魅力的な観光地の創生」・「次世代を担う人材の育成」・「新しい里海の文化の継承」を実現するため、「自然の恵みの保全と管理」・「沿岸域資源の持続可能な利活用」・「地域の魅力の向上と発信」に取り組むことを計画に位置付け。

○3つの重点事業「干潟の再生」、「地域資源のテキスト化」、「里海学舎の構築」を指定するとともに、協議会でさまざまな取り組みの進捗状況等を共有するとともに、委員それぞれが取り組みを進めることを協議会の中で確認してきた。

※3つの重点事業の重要性の認識は協議会で定着したが、それぞれ拍車がかかったとは言えない。また協議会の委員が属する団体の合意形成を越えて、毎年事業計画書に提出している団体、提出はしないが活動を行っている団体との連携・支援、新たな団体・個人の活動を引き出す仕掛けづくりという議論ができなかった。

一次計画の反省を踏まえ

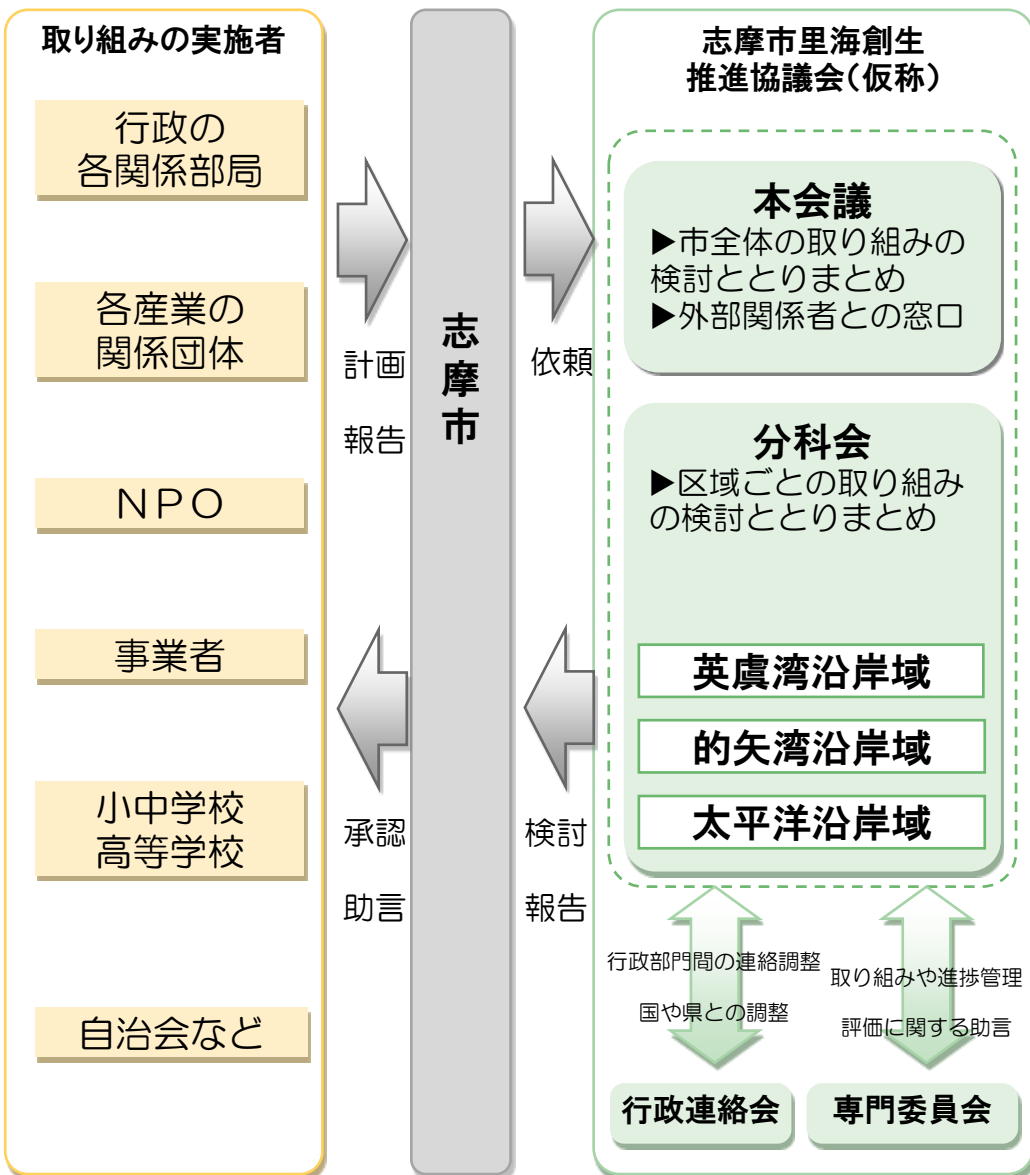


第2次里海創生基本計画期間

○事業の進捗状況を目に見える形にするため、3つの重点事業のほかに、「伊勢志摩国立公園としての適切な自然の利用と景観保全」、「産業連携の推進」、「市民や関係者の取り組み目標の共有と理解」を優先して取り組みを進める項目として選定し、委員が積極的に取り組むことを決定。

○協議会が、今後まちづくりに取り組む団体・個人の育成、仕掛けづくりや、まちづくりの取り組みを進めている団体と協議会・志摩市との連携を図っていくことを確認。具体的にはこれからという段階にあった。まちづくりガイドの養成は徐々に進みつつあった。

第1次計画期間の実施体制



第2次計画期間の実施体制

